AIFA 第 9 回カイヌマ杯 U-11・U-12　8 人制サッカー地区選抜大会 2026<要項>

2026.8.30
㈶愛知県サッカー協会
4 種委員会

1. 主　　催　(公財)日本サッカー協会

2. 主　　管　(公財)愛知県サッカー協会 4 種委員会

3. 特 別 協 賛　貝沼建設株式会社

4. 協　　力　(株)モルテン

5. 日程・会場

組　合　せ　抽　選：　4 月 25 日(土)　ウインクあいち(理事会)
予選・代表決定戦：　9 月 27 日(日)　貝沼建設 花はすフィールドあいさい

6. 大 会 役 員

大会委員長	佐藤 元英					
大会副委員長	兼松 啓子	山内 一乗	藤村 文也			
運営委員長	深井　晃					
運営委員	浦野 雅文	鈴木 孝雄	尾関 友英	岩下 憲一	塚本 恭久	水谷 直秀
	下原 登世美	木下 博嗣	伊藤 達也	冨田 冬生	若林 幸一	
競技委員長	細谷 賢一					
競技副委員長	横山 彰一	一石 康輔				
競技委員	及部 勝則	伊藤　収	三宅 基継	伊福 正史	加藤 裕之	伊藤 健作
	近藤 美孝	片山 和磨	中島　健			
審判委員	原　愛斗	斉藤 孝泰	杉浦 一輝	西川 秀二	石附 和巳	犬飼 高志
規律委員長	深井　晃					
規律委員	伊藤 達也	細谷 賢一	浦野 雅文	鈴木 孝雄	尾関 友英	岩下 憲一
	塚本 恭久	水谷 直秀				

7. 参 加 資 格

(1) 「参加選手」は、2026 年度(公財)愛知県サッカー協会(以下「本協会」)第 4 種に加盟登録したチームに所属していること。

(2) 県下 6 地区のトレセン活動に参加している選手から構成される 6 年生以下の部、5 年生以下の部の各地区各学年 1 チームとする。学年を重複して参加することは出来ない。

(3) 大会参加者は必ずスポーツ安全保険に加入していること。未加入者は参加を認めない。

8. 大 会 形 式

(1) 6 地区を 3 チームずつのブロックに分けての予選リーグ、各ブロックの 1 位が代表順位を決する第 I 代表・第 2 代表決定戦を行う。

(2) 第 1 代表、第 2 代表チームは東海大会に出場することができる。

(3) 試合時間は 12 分-1 分-12 分-5 分-12 分の 3 ピリオド制とし、予選リーグは同点の場合、引分けとする。代表決定戦については、同点の場合、ＰＫ戦により勝敗を決する。3 名ずつで決着が付かない場合は、以降 1 名ずつのサドンデス方式とする。

(4) 第 2 ピリオド開始時には、エンドを入れ替える。また、第 3 ピリオドは試合時間の半分が経過した時点でエンドを入れ替える。

(5) 予選リーグは勝点（勝ち：3、引分け：1、負け：0）で順位を決定する。
なお、勝点の合計が同点の場合は、以下の項目により順位を決定する。
1)全試合の得失点差（総得点ー総失点）
2)全試合の総得点
3)当該チーム同士の対戦成績（勝敗）
4) 1）から 3）の全項目において同一の場合は、PK 戦により決定((3)の方式を採用)

9. 競 技 規 則

(1) 2025/2026 の JFA「サッカー競技規則」および「8 人制サッカー競技規則」による。

10. 競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

(1) 競技のフィールド

フィールドの表面は、人工芝または天然芝とする。サイズは以下のとおりとする。

フィールドの大きさ：	長さ(タッチライン)68～50m×幅(ゴールライン)50～40m
ペナルティーエリア：	12m
ペナルティーマーク：	8m
ペナルティーアークの半径：	7m
ゴールエリア：	4m
センターサークルの半径：	7m

(2) ボール

試合球は 4 号球とし、主催者がモルテン製を準備する。

(3) 競技者の数

① 競技者の数：8 名（試合成立には 6 名以上が必要）
② 交代要員の数：12 名【試合登録選手は 20 名とする】
③ 交代を行うことができる数：制限なし（交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。ただし、出場ピリオドにより制限有り。）

(4) ベンチ入りするチーム役員の数

監督 1 名、コーチ 2 名以下の 3 名以内とする（これに反した場合には、チーム役員に対し大会規律委員会より懲罰を科す。）

(5) 審判員

① 審判は 1 審制とし、補助審判 1 人を配置する。
② 帯同審判員がいない場合は規律委員会の審議対象となり、以後の大会参加ができなくなる。担当審判員は 3 級以上の有資格者とする(下級および無資格者は不可)。
③ 審判員は必ずワッペンを装着すること。審判証は持参し、本部に提示する。(担当審判員本人に限る)

(6) テクニカルエリア

設置する。また、戦術的指示はテクニカルエリア内から、その都度ただ 1 人の引率指導者が伝えることができる。

(7) 競技者の用具・ユニフォーム

① 本競技会の大会要項に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

② ユニフォーム色彩は、フィールドプレイヤー(以下 FP)およびゴールキーパー(以下 GK)ともに審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
③ 本競技会に登録した正・副 2 組のユニフォーム（シャツ、ショーツおよびソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。(選手チェック時に持参し本部の確認をうけること。)
④ 正・副の 2 色については明確に異なる色とする。
⑤ 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
⑥ 前項の場合、審判員は、両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツおよびソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
⑦ ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
⑧ アンダーシャツ、アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。FP についてはチーム内で同色のものを着用する。GK については、GK ユニフォームの袖と同色のモノの着用も可とする。(チーム内でアンダーシャツ着用、未着用の混在も可とする。)
⑨ GK で出場する選手は、GK ユニフォームのシャツを必ず着用すること。ショーツおよびソックスについては、FP 用・GK 用いずれの着用も認める。
⑩ GK の選手番号については、出場選手の登録番号以外でも可とする。また、エントリー表に未登録の番号でも可とする。ただし、選手交代時に補助審に氏名および登録番号の確認を受けること。(例えば、選手番号「1」の GK ユニフォームを他の選手番号の選手が着用して出場しても良い。)
⑪ GK から交代した選手が FP として出場する場合は、登録した選手番号の付いたユニフォームを着用すること。(GK の選手番号と FP の選手番号が被ることも可とする。)
⑫ ユニフォームのシャツはパンツに入れて試合を行うこと。
⑬ FP 用シャツの前面・背面には、参加申込の際に登録した選手番号を付けること。
⑭ GK 用シャツについては、登録した選手番号または未登録の番号でも可とする。
⑮ 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
⑯ ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。

(8) 交代の手続き
① 試合登録選手は 20 名とする。
② 第 1 ピリオド､第 2 ピリオドに出場する選手は総入替えとし第 3 ピリオドは制限しない。
③ 第 1 ピリオドに出場した選手は第 2 ピリオドには出場できない。また、その逆も同様とする。
④ 交代して退いた選手が再び出場できる自由交代制とする。
⑤ 第 1 ピリオド、第 2 ピリオドは負傷交代のみとし、また、第 1・第 2 ピリオドに出場していない選手は第 3 ピリオド開始時から出場することとする。
⑥ 交代して退く競技者は､交代ゾーンからフィールドの外に出る｡ただし､交代して退く GK は、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
⑦ 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
⑧ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。

⑨ 交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。

⑩ GK は、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

(9) 負傷者の対応

主審が認めた場合のみ、最大 2 名ピッチへの入場を許可される。

11. 懲罰

(1) 本大会の規律委員長および規律委員については、[8 の大会役員] に示したとおり。

(2) 本大会期間中に警告を 2 回受けた選手およびチーム役員は、本大会の次の 1 試合に出場できない。

(3) 本大会において退場を命じられた選手およびチーム役員は、自動的に次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。

(4) 本協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

12. 選手証

(1) 各チームの登録選手は、原則として JFA 発行の選手証を持参しなければならない(2026 年度登録版)。選手証は必ずプリントアウトしたものを持参すること。出力した選手証は個人別、または選手一覧表でも可とする。ただし、顔写真の貼付は必須とする。

(2) 参加選手は選手証を持参し、試合会場で第 I 試合開始 30 分前までに大会本部にてチェックを受けること。

13. その他

(1) 試合時のベンチは、組合せ表の左側のチームが補助審から見て左側とする。

(2) 大会組合せ抽選は、4 月 25 日の理事会において、地区委員長が行う。

(3) 競技中の傷害は、応急処置はとるが、事後の処置については各チームで対応すること。

(4) 本大会の各学年の第 I 代表および第 2 代表チームが 2026 年 12 月 6 日 静岡県で行われる第 19 回東海ユース U-11・U-12　8 人制サッカー大会に参加することができる。

(5) 雨天決行ではあるがやむを得ず中止とする場合（暴風警報・大雨警報）がある。
※開催の有無は朝 6 時に決定し、各地区委員長から各チームへ知らせる。

(6) エントリー表は 9 月 21 日(月)までに細谷競技委員長に提出する。
ただし、事前に各地区委員長がエントリー表を回収し、チェックを行った後に提出のこと。
提出様式は、配布時と同様の Excel ファイルとする。配布ファイルの改ざん・修正は行わないこと。

(7) その他、不明な点については、細谷競技委員長に問い合わせのこと。
携帯 Tel(090-9228-6612)

AIFA 第 9 回カイヌマ杯 U-11・U-12　8 人制サッカー地区選抜大会 2026<要項>

Ⅰ.概要など

試合日；　2026年9月27日㈰

会　場；　貝沼建設花はすフィールドあいさい

＜関係者集合場所等＞

7：30	役員・各地区トレセン４名集合
7：45～	ゴール設置・ピッチ作り
8：30	監督・審判会議＜大会本部＞
16：00～	閉会式（完全撤収16:50）

各学年の優勝・準優勝チームは
東海大会（於；静岡県）へ出場する。

Ⅱ．組合せ

１）６年生

	Aﾌﾞﾛｯｸ	Bﾌﾞﾛｯｸ
Aピッチ	① 西三河	④ 西尾張
	② 東尾張	⑤ 知多
	③ 東三河	⑥ 名古屋

２）５年生

	Cﾌﾞﾛｯｸ	Dﾌﾞﾛｯｸ
Bピッチ	⑦ 知多	⑩ 東尾張
	⑧ 名古屋	⑪ 東三河
	⑨ 西尾張	⑫ 西三河

Ⅲ．試合順・時間　　＜12分-1分-12分-5分-12分＞

試合	ｷｯｸｵﾌ	Aピッチ・６年				Bピッチ・５年			
		対戦カード		主審	補助審	対戦カード		主審	補助審
第1試合	9:00	① 西三河	vs ② 東尾張	名古屋	知多	⑦ 知多	vs ⑧ 名古屋	西三河	東三河
第2試合	9:50	④ 西尾張	vs ⑤ 知多	西三河	東尾張	⑩ 東尾張	vs ⑪ 東三河	知多	名古屋
第3試合	10:40	① 西三河	vs ③ 東三河	知多	西尾張	⑦ 知多	vs ⑨ 西尾張	東三河	東尾張
第4試合	11:30	④ 西尾張	vs ⑥ 名古屋	東三河	西三河	⑩ 東尾張	vs ⑫ 西三河	西尾張	知多
第5試合	12:20	③ 東三河	vs ② 東尾張	西尾張	名古屋	⑨ 西尾張	vs ⑧ 名古屋	東尾張	西三河
第6試合	13:10	⑥ 名古屋	vs ⑤ 知多	東尾張	東三河	⑫ 西三河	vs ⑪ 東三河	名古屋	西尾張

Ⅳ．星取り(勝点（勝ち：3、引分け：1、負け：0）【各ブロック1位が愛知県代表として東海大会へ出場】

＜６年生＞

Aﾌﾞﾛｯｸ	西三河	東尾張	東三河	勝点	点差	順位
西三河						
東尾張						
東三河						

Bﾌﾞﾛｯｸ	西尾張	知多	名古屋	勝点	点差	順位
西尾張						
知多						
名古屋						

＜５年生＞

Cﾌﾞﾛｯｸ	知多	名古屋	西尾張	勝点	点差	順位
知多						
名古屋						
西尾張						

Dﾌﾞﾛｯｸ	東尾張	東三河	西三河	勝点	点差	順位
東尾張						
東三河						
西三河						

Ⅴ．代表順位決定戦

＜６年生の部＞

主　審：Cブロック3位
補助審：Dブロック3位

Aブロック１位
Bブロック１位
15:10 A
第１代表
第２代表

＜５年生の部＞

主　審：Aブロック3位
補助審：Bブロック3位

Cブロック１位
Dブロック１位
15:10 B
第１代表
第２代表